

通訳者の方へ

●調査の目的

この調査は、日本語非母語話者に日本語で書かれたものを読んでもらいながら、その理解過程を母語で話してもらい、記録することが目的です。これは国立国語研究所の読解コーパス作成プロジェクト（リーダー：野田尚史）の一環として行われます。

●調査の方法

日本語非母語話者である協力者に、日本語で読みたいものや読む必要のあるものを調査日より前に選んでもらいます。

調査では、協力者に普段読むときと同じように読んでもらいます。それと同時に語句や文の意味をどのように理解したかを母語で少しずつ話してもらいます。辞書やパソコンなども普段読むときと同じように使ってもらいます。

協力者に理解した内容だけではなく、頭の中でどのようなことを考えながら読んでいたかを話してもらいます。推測したこと、解釈の変更、わからないことや判断に迷っていることなどをそのまま話してもらいます。

データ収集者は協力者の発話を聞き、その発話だけではどのような意味に理解したかがよくわからないときや、言及されなかった点を確認するために、協力者に質問をして、答えてもらいます。

データ収集者と協力者が話したことを日本語に翻訳しなおしたものをコーパスのデータとして公開します。通訳者の通訳内容は公開されません。ただし、通訳者による通訳内容を公開しないとデータ収集者と協力者のやりとりがよくわからない場合は、その部分だけ公開します。

●通訳する内容

調査でのデータ収集者と協力者の発話をすべて同時通訳に近い形で通訳してください。通訳者が協力者に発話意図の確認などで質問をしたときの発話も通訳してください。

●通訳するときの注意点

通訳するときには次のような点に注意してください。

(1) 意識せずに、協力者が言ったとおりに通訳する

協力者の発話を意識しないでください。協力者の理解過程をそのまま知るために、協力者が言ったとおりに、通訳してください。

(2) 発話はひとり言も含めてすべて訳す

協力者の発話はひとり言や言い直しを含めてすべてを訳してください。「よくわからないな」のようなひとり言や、「日本テレビはテレビを作る会社です。じゃなくて、テレビ番組を作る会社です」のような言い直しもすべて訳してください。

(3) データ収集者が文章の中の語句を指で指し示したら、同じようにする

協力者が読んでいる文章の中の語句に言及するときに、その語句を日本語で発音すると、協力者の理解の助けになることがあります。そのようなことを避けるために、データ収集者は語句を発音せずに指で指し示しますので、同じようにしてください。

(4) 書いてある内容について、協力者からの質問には答えない

協力者に漢字の読み方を聞かれたり、書いてある内容について確認を求められたりしてもそれに答えないようにしてください。

(5) 調査に影響を与えるようなことはしない

通訳者の発言や行動が調査に影響を与えないように注意してください。たとえば、データ収集者による質問の答えのヒントになることを言ったり、協力者が間違ったことを言ったときに、間違ったと気づかせるような反応をしったりしないでください。

(6) 全体の様子を見ながら通訳する

協力者とデータ収集者の発話のタイミングに気を配り、やりとりを遮らないようにして、できるだけ発話が重ならないように通訳してください。

(7) 疲れたら休憩をとる

疲れてきたら、遠慮することなく休憩したいということを知らせてください。

●調査の前の準備

調査日より前に、データ収集者から調査方法について説明があります。協力者向けのサンプルビデオを見たり、データ収集者に聞いたりして、調査方法をよく理解するようにしてください。

調査方法の説明のときに、データ収集者から調査で読むものが送られます。後日、データ収集者がそれについて質問をする可能性のある箇所とその内容を説明しますので、それまでによく読んでおいてください。通訳する言語で何と云うかわからない語句などがあれば、調査当日までに調べておいてください。

調査方法についてわからないことがあったら、データ収集者に聞いてください。

●調査実施責任者の連絡先

国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター 読解コーパス調査担当

Email: dokkaichousa@ninjal.ac.jp

〒190-8561東京都立川市緑町10-2